

第2回 WG1（現状技術調査 WG）議事要録

日 時：平成 25 年 2 月 25 日（金）13 時～15 時

場 所：JCI 第 2 会議室

出席者：

（委 員）有川智、荒金直樹、江里口玲、角倉英明

（事務局）岡田遼

資料：

WG1-2-0 第 2 回 WG1 議事次第

WG1-2-1 第 1 回 WG1 議事要録

WG1-2-2 第 2 回全体委員会議事要録

WG1-2-3 WG1（現状技術調査 WG）の作業方針

WG1-2-4 トレーサビリティ関連「リスト」

WG1-2-5 トレーサビリティ関連「情報シート」

WG1-2-6 公開特許内容

WG1 参考 2-1 商品トレーサビリティの向上に関する研究会 中間報告の概要

1. 全体委員会及び他 WG の議事について

- ・第 1 回 WG1 と第 2 回全体委員会の議事内容を確認した。
- ・186 文献、実質 139 文献のリスト化。
- ・WG1「情報シート」の作成にあたっては、掲載された図の引用可否が一つの課題となること。
- ・平成 30 年までに UHF 帯の周波数帯の移行。JCI 委員会の中で試行実験（WG4）を行う場合に、継続的な計測などに課題がある。HF 帯で実施するという案もある。製品管理を目的とすれば確実に IC タグの位置が分かることが必要と思う。

2. WG1 の作業方針及び進捗状況について

- ・基本的には第 1 回で打合せした通りである。
- ・情報シートに図表を引用するかどうかについては、許諾が必要となる。
- ・WG2 と WG3 の議論の入り口（発端）となる情報を整理する。

3. 今後の作業計画と分担について

- ・建築・土木関係については原本（論文・雑誌）を収集できる。
- ・今ある原本を中心に、情報シートの作成を進める。対象は今年度までとする。

・成果の出し方として、①許諾を取った上で情報シートを作成し、報告書に参考資料として掲載する、②許諾を取らず情報シートを作成し、報告書には載せずあくまで委員会資料とする、③情報シートを作成しない、というやり方がある。この点については、検討を続ける必要がある。

・情報シートの作成を進める前に、リスト内から情報シートを作成すべき論文・記事を抽出する。その中で、文献が入手可能なものを中心に収集する。ただし、これだけは収集すべき論文・記事があれば、直接原著にあたりに行く。

・原著論文としてダウンロード等で収集したものについてチェックを入れ、足りないものについて収集可能か否かを分担して確認する。

・論文や雑誌記事毎に整理することよりも、技術系統毎にシートとして整理することが望ましい。WG1で作業分担をする方法以外に、研究者にお願いして、シート作成をいただく方法もある。技術系統毎に整理する方針を基本とするが、情報シートの作成方法については今後の検討課題とする。

・特許については、公開特許と登録特許について見ると約50件程度になる。この中から主に登録特許を対象として技術情報シートを作成する。

4. その他

・WG1は来年度も実施する。

以上